

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

ベネトクラクス抵抗性急性骨髄性白血病に対する CAG 療法の後方視的検討

1. 研究の対象

2021年4月1日～2024年2月26日の間に、当院で急性骨髄性白血病に対して内服抗がん剤ベネトクラクスを併用した化学療法を実施した患者様。

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2024年12月31日 まで

3. 研究目的・方法

下記の診療情報等を利用し、急性骨髄性白血病に対するベネトクラクス療法抵抗性となった後の抗がん剤感受性を解明することを目的とした研究を実施するため、当院においてこの内服抗がん剤治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに白血病診療に関わるデータを選び、治療効果や副作用に関する分析を行います。

この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 診療情報等：年齢、骨髄芽球割合、染色体分染、治療ライン、過去の治療レジメン、シタラビン+アクリルビシン+顆粒球コロニー刺激因子（CAG）療法1コース後の骨髄芽球割合、有害事象（腫瘍崩壊症候群、感染症、心不全、肺炎、出血）の有無、予防的抗菌薬・抗真菌薬使用の有無、後治療の内容、同種移植の有無、生存の有無
- ・ 試料：該当なし

5. 研究組織

上記の情報を共同研究実施のために下記機関に対して提供します。

主な提供方法：直接手渡し、電子的配信

共同研究機関および研究責任者名

海老名総合病院 血液内科 渡邊 茂樹

小澤病院 血液内科 笹尾 保

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2237）

研究責任者 血液腫瘍内科 川田 浩志

問い合わせ担当者 血液腫瘍内科 原 隆二郎

海老名総合病院 （電話：代表 0462-33-1311）

研究責任者 血液内科 渡邊 茂樹

小澤病院 （電話：代表 0465-24-3121）

研究責任者 血液内科 笹尾 保